

【1】地域概要

- [illegible]

- ・拠点病院機関名:岡山県精神科医療センター
- ・拠点病院の規模:252床(入院病床:20床)
- ・拠点病院における事業実施科名:児童精神科
- ・事業開始年:2015年4月
- ・子どもの心の診療機関マップ (実施有無と登録施設数):未実施

乳幼児から成人に至るまでライフステージに応じた支援ネットワークの構築を積み重ねてきた。また医療・福祉・保健・教育等の関係機関が連携し立体的な支援が可能となるように、人事交流や専門職の相互派遣を行ってきた。これらを基盤として平成27年4月より、「子どもの心の診療ネットワーク事業」として展開させている。

【4】事業図



【5】実施事業内容の概要

①子どもの心の診療支援[連携]事業 ～県内精神科医療機関、関係機関の専門職派遣

○児童福祉

- ・岡山市こども総合相談所
- ・岡山県中央児童相談所
- ・岡山県倉敷児童相談所
- ・岡山県児童自立支援施設
- ・岡山県要保護児童対策協議会
- ・岡山県社会福祉審議会児童相談部会
/事例検証部会
- ・岡山県児童虐待防止等専門サポートチーム

○医療

- ・まな星クリニック
(岡山市児童発達支援センター
を附設する児童精神科診療所)
- ・向陽台病院
(児童精神科不在地域)
- ・旭川荘療育・医療センター
児童院

○教育

- ・岡山市教育委員会
- ・岡山市教育相談室
- ・岡山県立岡山西支援学校
- ・川崎医療福祉大学

○司法

- ・岡山家庭裁判所
- ・岡山少年鑑別所
- ・岡山少年院

○保健

- ・岡山県・岡山市乳幼児健診
(医師・心理士)

②子どもの心の診療関係者研修・育成事業

○研修事業

- ・児童思春期メンタルヘルスセミナーの開催
- ・CARE/PCIT指導者養成研修会・実施者養成
研修会の開催
- ・TF-CBT合同研修会の開催
- ・かかりつけ医等発達障害対応力向上事業
- ・児童精神科定例カンファレンスの開催
- ・児童精神科中堅・若手研修の開催
- ・児童精神科専攻医研修の開催

○育成事業

- ・発達障害トータルライフ支援プロジェクト
専門機関臨地研修の受け入れ
- ・一般精神科児童領域研修の開催
- ・TF-CBT研修会への派遣
- ・医師初期研修児童精神科ローテーションプログラム設置
- ・精神科専門研修プログラム設置
- ・児童精神科専門研修プログラム設置
- ・学生(医師、看護師、公認心理師、作業療法士、
精神保健福祉士等)臨床実習の受け入れ

○機能強化事業

- ・岡山県子育て家庭サポート
強化事業
- ・児童相談所スーパーバイズ
機能強化事業
- ・岡山県虐待通告背景分析事業
- ・児童養護施設等対応機能強化
事業事例検討会

③普及啓発・情報提供事業

- ・ホームページ上の情報公開(インターネット依存チェックリスト、生育歴アンケート、教育機関からの情報提供シート等)
- ・施設職員、保育士、地域子ども相談センター職員向けのCAREワークショップの開催
- ・児童生徒、教職員、保護者向けのネット・ゲーム依存についての研修の提供

【6】特徴や特に力を入れている事業内容

- ・発達障害の診療・支援ネットワークの構築、児童相談所と協働した虐待予防対策としてのネットワーク整備(岡山県保健医療計画等)
- ・拠点病院としての診療体制整備(院内学級併設の児童思春期精神科病棟、専門外来と外来プログラム等)
- ・理念を共有する人材の育成(児童精神科医・医療専門職)

【7】地域や関係機関との連携の状況

○医療機関との連携

- ・20歳未満の紹介:239件 逆紹介:110件

○児童福祉機関との連携

- ・県内各児童相談所への医師の派遣:94件
- ・児童相談所一時保護委託入院の運用:23件
- ・養育者入院時の児の一時保護
- ・一時保護児童の親の診察
- ・相互連携治療プログラム(CARE・PCIT)の実施

○教育機関との連携

- ・教育委員会、教育相談室、支援学校への医師の派遣:62件
- ・児童思春期入院棟院内学級の年間在籍生徒数:延べ121名

○保健機関との連携

- ・乳幼児健診への医師・心理士の派遣:47件

○司法機関との連携

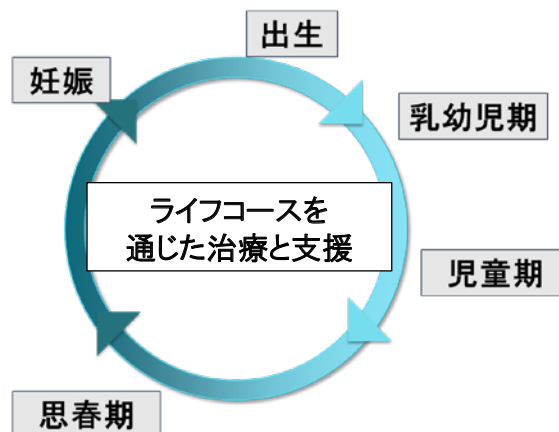
- ・岡山家庭裁判所、岡山鑑別所、岡山少年院
への医師の派遣:36件

○その他各種機関との連携

- ・周産期メンタルヘルス支援(保健機関・産科との連携):43件
- ・被害者サポートセンターおかやま(VSCO)からの紹介:7件

○研修会開催状況

- ・CAREワークショップ
- ・児童思春期精神医学セミナーin岡山
- ・PCITイニシャルワークショップ
- ・CAREファシリテータートレーニング@岡山
- ・CAPによる子どもにかかわる支援者向けワークショップ
- ・児童精神科定例カンファレンス
- ・TF-CBT合同研修会



※件数は全て令和3年度のもの

【8】事業による効果と思われるもの(H28-30年度からの改善点など)

- 拠点病院である岡山県精神科医療センターは、岡山大学病院、乳幼児に対応した多機能診療所、岡山市・県の児童相談所および発達障害者支援センターと協働して、子どもの心の診療ネットワークのセンター機関としての役割を担い、連動した支援を実施している。
- 児童精神科のネットワークが形成され、事業の実施を協働して行っている。
- PCITのインシヤルワークショップの開催・認定セラピストの育成などの人材育成について、単独機関でなく児童精神科ネットワーク(大学・民間医療機関・児童相談所等)のなかで人材育成を行っている。

【9】目指す方向性について (今後の予定事業や展望、目標など)

- 乳幼児期から成人期にいたるまで、ライフステージに応じて切れ目なく、関係機関が連携して支援を継続する保健・医療・福祉・教育支援システムの構築(岡山モデルの構築)
- 岡山県(政令市である岡山市を含む)での子どもの医療・保健・福祉・教育に関する事業に児童精神科・一般精神科として関与
- 虐待予防のため、児童相談所等他機関とのネットワークの中でPCIT/CARE及びTF-CBTを実施する体制整備
- 子どもを育てる親のメンタルヘルス問題に、児童相談所、保健所、産婦人科医療等と連携し、具体的に関与する体制整備・児童精神科医療を担う人材を養成するため研修機能を強化
- 医療だけでなく、児童福祉・教育等の機関横断型の通所型センターの設置など



©岡山県「ももっち・うらっちと仲間たち」